

# 欧州危機の背景と将来

RIETI BBL

2012年11月2日

RIETI コンサルティング・フェロー

JETROブリュッセル事務所

日本機械輸出組合ブラッセル事務所長

住田 孝之

# 1 これまでのEUの深化の基本構図

物理的な拡大

国数(12→27)\*

GDP

東欧新興国の取り込み

ユーロ圏の拡大

権限の集中・移管

巨大な単一市場

ルール作り

ルール主導型の政府

経済成長

・ 投資の呼び込み

・ 域内需要

・ 供給サイドの競争力

自由化+保護

大官僚組織 ( エリート集団 )

参入障壁

\* 原加盟国6⇒86年12⇒95年15⇒04年25⇒07年27

# (参考) 主要経済データ

世界のGDP            GDP    GDP/capita (2011年)  
                                  (10億ドル) (千ドル)

米国	15,100	48.4
日本	5,900	45.9
EU	17,600	34.9

EU加盟国のマクロデータ(%)

	成長率		失業率	財政収支/GDP	政府債務 残高/GDP
	2011	2012	2011	2011	2011
EU	1.5	0.0	9.7	△ 4.5	83.0
ユーロ圏	1.5	△0.3	10.2	△ 4.1	88.0
独	3.0	0.8	5.9	△ 1.0	81.2
仏	1.7	0.7	9.7	△ 5.2	85.8
伊	0.4	△1.4	8.4	△ 3.9	120.1
西	0.7	△1.8	21.7	△ 8.5	68.5
希				△ 9.1	165.3
英	0.7	0.5	8.0	△ 4.1	88.0

2012年の数字は、4月時点での予測値

## 2 顕在化しつつある課題

- 27か国⇒意思決定に時間
- 拡大による成長⇒イノベーションの発想の停滞
  - 新しいものが入ってきにくい
  - 新しいものへの関心が薄い(変化を嫌う国民性)
  - 新しいものが生まれにくい
- 成長鈍化⇒地域格差の顕在化
- 金利政策なき経済運営の難しさ
- ルール至上主義＋コネ社会⇒自由競争をベースとする競争力？
- 理想論と実行(罰かインセンティブがないと動かない)

# (参考)イノベーション関連指標

	France	Japan	Germany	UK	China	Korea
<b>GDP (2010, bil. euros)</b>	1 865	4 006	2 412	1 637	4 284	739
<b>GDP per capita(2010,euros)</b>	28 751	31 431	29 516	26 303	3 201	15 124
<b>Patent applications (patented)</b>	16 104 (10 529)	348 596 (193 349)	59 583 (14 435)	22 465 (5 428)	314 573 (128 489)	163 523 (56 732)
<b>Patent applications (patented)/100,000 people</b>	26 (17)	273 (151)	73 (18)	36 (9)	24 (10)	335 (116)
<b>R&amp;D Expense, 2009 mil. euros)</b>	42 596	122 463	68 483	29 625	61 884	22 833
<b>Nobel Prize Winners in Science ('00-'10)</b>	4	9	6	8	0	0
<b>Expense for Consumption, 2009 (bil. euros)</b>	1 127	2 201	1 428	1 031	1 298	321
<b>Consumption per capita, 2009 (euros)</b>	17 452	17 254	17 439	16 687	975	6 575
<b>License fee paid, 2010 (mil. euros)</b>	4 050	13 676	9 509	7 050	9 501	6 532
<b>License fee received, 2010 (mil. euros)</b>	7 583	19 440	10 480	10 408	605	2 292

## Sources:

• World Bank

• IMD World Competitiveness Yearbook 2011

• Agence française pour les investissements internationaux (AFII)

• World Intellectual Property Office (WIPO)

Taux de change utilisé: 1 dollar = 0.72862 euro

\* Hong Kong non inclus

### 3 危機の要因

- 1) 拡大による成長の停止  
→成長源泉の喪失(except 中国)
- 2) バブルの崩壊  
→政府部門の負債、不良債権、銀行と政府債務の連鎖
- 3) 地域格差の顕在化＝持てる者VS持てない者
- 4) 各国での経済政策の手段への制約  
金利政策なし  
財政緊縮で財政出動も手詰まり
- 5) 製造業の過剰設備＋不動産不況  
→雇用への直撃

# 4 危機を深刻化させる要因

- 1) 「成長戦略」の難しさ
  - ・ルール主導
  - ・政治アジェンダにビルトイン
  - ・イノベーションマインド
  
- 2) スピード感
  - ・それでも権限拡大、交渉意識
  - ・「少しでも負担を少なく」との意識
  
- 3) 市場からの揺さぶり
  - ・成長が必要⇔財政規律
  
- 4) リーダーシップ
  - ・大国間の思惑
  - ・各国の国内基盤、選挙のタイミング
  
- 5) 北欧と南欧での意識・文化の違い

# 5 当面のポイント

- 1) キリシアの離脱  
ドイツの腹積もり  
3次支援?、IMF  
タイミング
- 2) スペイン
  - ・救済申請のタイミング・規模
  - ・国内不安(独立運動、雇用)
- 3) 銀行同盟
  - ・統一監督メカニズムのタイミング
  - ・預金保険、基金
- 4) 世界経済の動向、資金の流れ
  - ・中国の減速?
  - ・ドイツの不動産への投資=新たなバブル?
- 5) イタリア
  - ・政治情勢=2013年春の選挙



# 6 EUの行方

## 中長期

- 1) 長期的な解決策: ユーロ合衆国  
economic governance package
- 2) 低成長 or イノベーション型

## 当面

- 1) 「スピード感」に関する市場との認識の共有？
- 2) キリシア離脱でより大きな危機の始まり？
- 3) ドイツがいつまで付き合える？ 選挙後？
- 4) 経済停滞で状況が悪化？  
その都度ユーロ圏で輸出主導の経済成長？
- 5) 社会不安の増大？ 分裂？

## 7 日本の位置づけ、日本との関係

- 1) 数少ない投資国・雇用に貢献する日本
- 2) 成長を可能にするFTA戦略の重要な一部  
(米国とともに)
- 3) 米EU、TPP、EIAで新しいWTOの形  
(TPPの先行は回避したい?)
- 4) 規制・ルールの調和で新興国への防波堤
- 5) 価値観の共有できる相手